



おおぎみ



広報 No.250

KOHO OGIMI 2016年1月1日

大宜味



申年生まれの子どもたちよ
揺るがざる志と弛まざる努力を

日時: 12月8日
撮影場所: 結の浜公園
撮影: 久高 将和(サン・フォトス)

平成28年 村長年頭あいさつ



新年あけましておめでとうございます。
村民の皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

はやいもので、就任から一年余りが過ぎましたが、村政各般にわたり村民の皆様の温かいご支援・ご協力を賜りまして、人材育成、子育て支援、教育福祉をはじめ、三大プロジェクトであります、結の浜利用計画・長寿と癒しの森計画・体験滞在交流プログラム構築の実現に向けて、着実に前進していくことができました。心より厚くお礼申し上げます。

また、本年は大宜味村にとりまして大切な節目の年でもあり、本村の最重要長期計画であります「大宜味村第五次総合計画」をはじめ、「公共施設等総合管理計画」や「大宜味村総合戦略」の策定、そして実施・スタートの年でもあります。

昨年、全十七区に於いて開催させて頂きました行政懇談会での要望事項を基に、残された課題や新たな計画の取り組みを明確にし、今後の行財政運営へしっかりと反映させて頂いております。

さて、振り返りますと昨年も本村では話題の多い年でありました。

学校・教育面では、【村内四小学校最後の大運動会】が卒業生多数の参加のもと開催され、子供達と一緒に忘れられない大切な思い出をつくることができました。更に、子どもたちが期待に胸をふくらませている、【新大宜味小学校の校歌】(藤田元也さん作詞)や【校章】(大宜味中学校三年生の島袋菜弥さん制作)も決定し、四月の開校を待ち望んでいます。最近では、まだ記憶にあたらしい、【辺土名高校七十周年記念式典】が開催され、七十年の輝かしい歴史を振り返りました。引き続き、我々三村が連携し、【世界自然遺産の登録】へ向けても協力することで、豊かな美しい自然を後世へ引き継ぐと共に、観光産業の振興につなげてまいりたいと思います。

歴史・文化面では、二十年越しとなる【戦後七十周年戦没者慰霊祭】を開催することができ、戦争で犠牲なられた方々の安らかならんこと、御遺族の皆様方の平安を祈り、恒久平和を誓いました。

スポーツ面では、辺土名高校、宮城恰奈さん(ウエイトリフティング)が、【全九州高校選抜大会の三種目】と、【美ら島総

体記念大会で向かうところ敵なしの大会新記録で完全優勝)し、【中学校ソフトテニス競技大会では、稲福蓮音くんと山城樹くんペアが男子個人戦で堂々の優勝】をかざりました。

次に、私事でございますが、地域の皆様に支えられた長きに渡る活動が取り上げられ、【全国防犯協会金賞】という、名誉ある賞を頂くことができました。これも一重に皆様のご支援の賜物だと感謝しております。ありがとうございました。

その他、根路銘区に所縁のある【歌う琉球サンバユニット「宮城姉妹」】が、観光大使であるアイモコに続く、観光レディとして委嘱を受け、県内外をはじめとした国外での、大宜味村のPRも期待されます。

最後になりますが、一月より新たな制度で取り組んでまいりました【大宜味村むらづくり応援寄附(ふるさと納税)】も四千万円を超えるご寄附を頂き、村特産品の出品による農・工・商業の活性化が図られ、村全体が活気にあふれております。頂きました大切なご寄附は、今後益々の魅力ある村づくりの取り組みへ活用させて頂きたいと思っております。

また、四月からは子供たちにとって大きな環境の変化となりますが、【新大宜味小、中学校が開校】致します。村民の皆様におかれましては、閉校への哀惜の念は堪えないことかと思っておりますが、大宜味村の将来を担う子供たちが、明るく活力に満ち、心身ともに健全に育ちますよう、地域の皆様には、なお一層のご支援・御協力をお願い致します。子供達と一緒に、新しい歴史を築き上げていきましょう。

厳しい財政事情の中ではございますが、【副村長・教育長】も選任され、「大宜味村に住みたい」と思える村づくりへの本格的な体制も整いましたので、職員一同心を一つにして本村の発展と村民の皆さまの幸せのため、村民の皆様と共に歩んでまいり、最大限の努力をしていく所存でございます。

本年も、どうぞよろしくお願い致します。
結びに、村民の皆さま方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

平成二十八年元日

大宜味村長 宮城 功光

平成28年 議長年頭あいさつ



新年あけましておめでとうございます。
村民の皆様には平成二十八年の輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

今年は百年以上もの歴史ある大宜味村内の四小学校が統合され新生大宜味小学校が誕生します。また大宜味中学校が同じく結の浜へ移転されます。児童生徒にとっては希望と不安で一杯のことと思います。議会といたしましても児童生徒そしてご父兄の皆様が安心・安全な学校生活を送れるよう努力をまいります。

さて、平成二十八年度は本村の第五次総合基本計画のスタートの年となっております。向こう十年の大宜味村のビジョンを決定する重要な計画でございます。

議会においても、慎重審議をして参る所存であります。本村においては毎年人口減少が続き二十七年年度の国勢調査によると三千人を割り込みそうで、憂慮すべき状況にあります。今後は、世界自然遺産登録や学校跡利用をチャンスと捉え、人口の減少に歯止めをかけるため、あらゆる施策を講じなければなりません。

議会の役割は予算や条例などの議決のみではなく、国や県の動向にも注視しながら、村民の声を行政に反映させなければなりません。執行機関と互いに切磋琢磨しながら、複雑多様化する社会に対応し、村民の皆様への負託に応え大宜味村の抱える諸問題を解決するために、議会としても全力を尽くしてまいります。村民の皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本村の益々のご発展と村民各位の一層のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶と致します。



平成二十八年元日

大宜味村議会議長 平良 嗣男



大宜味村10大ニュース

2015



●喜如嘉小学校



●塩屋小学校

村内各小学校で 最後の大会

●大宜味小学校



●津波小学校



宮城功光村長 防犯栄誉金章受賞



9月24日、明治記念館(東京都港区)において、平成27年全国地域安全運動中央大会が開催され、宮城功光村長が平成27年度防犯栄誉金章を受賞しました。防犯栄誉金章とは、公益財団法人全国防犯協会連合会と警察庁が多年にわたり地域安全活動に尽力し、安全で安心な街づくりに貢献された方に贈られるものとなっていて、今回の金章は沖縄県では宮城村長ただ1人となっています。現在も大宜味中学校前で登校時の子どもたちの安全を見守る活動や交通ルール・マナーを村民に訴え、交通事故を減らしていこうと活動しています。

章とは、公益財団法人全国防犯協会連合会と警察庁が多年にわたり地域安全活動に尽力し、安全で安心な街づくりに貢献された方に贈られるものとなっていて、今回の金章は沖縄県では宮城村長ただ1人となっています。現在も大宜味中学校前で登校時の子どもたちの安全を見守る活動や交通ルール・マナーを村民に訴え、交通事故を減らしていこうと活動しています。

新・大宜味小学校の校歌(歌詞)・校章決定

文化の光
歴史の光
多くの先人
満ちわたる
音源をつくる
正しく強き
大志を胸に
みんなをまとめて
はばたけ
未来がや
この村で
明日にいかす
平和の光
大宜味小
心もち
励みあい
ここに今
自由の大空へ
大宜味小



平成28年度開校予定の大宜味小学校の「校章デザイン」と「校歌の歌詞」を6月に募集し、その応募の中から統合移転推進委員会総務部会を中心とする校歌・校章選考委員会による厳正な審査のもと決定しました。校歌の作詞者は大兼久出身の藤田元也さんです。作詞の1番から3番には、新天地「結の浜」と新学校への希望、歴史・文化・平和、未来に向かう思いなどが込められています。校章の制作者は大宜味中学校3年生の島袋茉弥さんです。校章には星、背景の山、波、しづきがイメージされ、配色には、地域や子ども達への思いなどが表現されています。

平成28年度開校予定の大宜味小学校の「校章デザイン」と「校歌の歌詞」を6月に募集し、その応募の中から統合移転推進委員会総務部会を中心とする校歌・校章選考委員会による厳正な審査のもと決定しました。校歌の作詞者は大兼久出身の藤田元也さんです。作詞の1番から3番には、新天地「結の浜」と新学校への希望、歴史・文化・平和、未来に向かう思いなどが込められています。校章の制作者は大宜味中学校3年生の島袋茉弥さんです。校章には星、背景の山、波、しづきがイメージされ、配色には、地域や子ども達への思いなどが表現されています。

金城修さん沖展賞受賞



沖縄県内最大の美術・工芸公募展として歴史と伝統のある「沖展」(主催:沖縄タイムス社)は今回で67回目となり、その工芸部門の審査結果が2月4日にまとまりました。一般応募144人・174点の中から工芸沖展賞に4人が選ばれました。その中の木工芸で金城修さん(字喜如嘉)の作品「ヤラブの大壺」が沖展賞を受賞しました。金城さんは木工に携わり30年、シークワサーやセンダンなど地元の木材にこだわり、日常雑器を作ってきました。今回の作品は直径55cmのヤラブ(テリハボク)の原木を使った、縦横50cmの大作となり、金城さんは「初出展だったが、賞が取れる作品だと思った。また、いい素材の木に出会って、迫力のある作品を作りたい」と話しました。

沖縄県内最大の美術・工芸公募展として歴史と伝統のある「沖展」(主催:沖縄タイムス社)は今回で67回目となり、その工芸部門の審査結果が2月4日にまとまりました。一般応募144人・174点の中から工芸沖展賞に4人が選ばれました。その中の木工芸で金城修さん(字喜如嘉)の作品「ヤラブの大壺」が沖展賞を受賞しました。金城さんは木工に携わり30年、シークワサーやセンダンなど地元の木材にこだわり、日常雑器を作ってきました。今回の作品は直径55cmのヤラブ(テリハボク)の原木を使った、縦横50cmの大作となり、金城さんは「初出展だったが、賞が取れる作品だと思った。また、いい素材の木に出会って、迫力のある作品を作りたい」と話しました。

活躍著しい村内スポーツ



2015年も様々な児童・生徒の活躍がありました。辺土名高校のウエイトリフティング女子48kg級選手である饒波出身の宮城玲奈さんは、全九州大会や全国大会で数多くの素晴らしい成績を収めました。中でも特に目を引いたのは、1月17日に熊本県で行われた第23回全九州高校選抜大会においてスナッチ、ジャーク、トータルの3種目の大会新記録を樹立し見事優勝したことです。また、村内中学生ソフトテニスでは、第57回沖縄県中学校ソフトテニス競技大会において、稲福華音・山城樹ペアが男子個人戦優勝。第25回知花杯中学校ソフトテニス大会では、高原咲輝・山城願ペアが女子個人戦優勝など、素晴らしい成績を収めています。

2015年も様々な児童・生徒の活躍がありました。辺土名高校のウエイトリフティング女子48kg級選手である饒波出身の宮城玲奈さんは、全九州大会や全国大会で数多くの素晴らしい成績を収めました。中でも特に目を引いたのは、1月17日に熊本県で行われた第23回全九州高校選抜大会においてスナッチ、ジャーク、トータルの3種目の大会新記録を樹立し見事優勝したことです。また、村内中学生ソフトテニスでは、第57回沖縄県中学校ソフトテニス競技大会において、稲福華音・山城樹ペアが男子個人戦優勝。第25回知花杯中学校ソフトテニス大会では、高原咲輝・山城願ペアが女子個人戦優勝など、素晴らしい成績を収めています。

大宜味村ふるさと観光レディに「宮城姉妹」



2月16日、大宜味村ふるさと観光レディ委嘱状交付式が村長室にて行われ、歌う琉球サンバユニット「宮城姉妹」が委嘱を受けました。宮城姉妹は平成24年に日本人初の

姉妹パシスタ(花形ダンサー)として、ブラジルサンパウロのトップリーグチーム「Agua de Ouro(アギア・ジ・オウロ)」より、本場のカーニバルへ出場し、これを機にプロのダンサーとして始動しました。一つ違いの実の姉妹であり、本籍は大宜味村となっています。TVなどでも数多く活躍し、平成25年から3年間、村夏まつりにも出演し、会場を沸かしています。

大宜味村副村長、教育委員会教育長就任



10月20日、大宜味村副村長に島袋幸俊氏が就任しました。就任式で島袋副村長は「行政での経験を活かし、村長を補佐し、村の活性化を進めていきたい。」と話しました。

平成26年9月から副村長の不在期間が続いていたので、今回の就任は約1年ぶりとなりました。

11月10日、大宜味村教育委員会教育長に米須邦雄氏が就任しました。米須教育長は「統合後の新しい大宜味小学校の開校に向けて、次世代を担う子供たちが一日でも早く新しい環境に慣れるよう、事務局職員と力を合わせ、よりよい教育行政に邁進していきます。」と話しました。

大宜味村慰霊の塔に平和を願う



11月20日、大宜味村役場前にある慰霊の塔にて「大宜味村戦後70周年戦没者慰霊祭」が行われました。一般住民を巻き込み、20万人余の

尊い命や文化遺産を奪った沖縄戦から70年の節目を迎えた慰霊祭では、遺族の方や郷友会、村内各種団体の方が参列し、戦没者のご冥福を祈り、霊を慰めるとともに、世界の恒久平和が希求されました。読経と焼香祭文のあとに村内各小・中学校の児童生徒代表による献花が行われ、大宜味中学校生徒代表の花城瑞姫さんからは「平和の詩」が朗読されました。

辺土名高校創立70周年



昭和20年12月6日に辺土名地区高等学校促進委員会において辺土名高等学校の設立決定を創立の日とし、平成27年12月6日に「沖縄県立辺土名高等学校創立70周年記念式典・祝賀会」が同学校体育館にて開催されました。同校は70年の歴史の中でスポーツ面と文化面で全国大会出場の輝かしい実績のある部活動が多くあり、卒業生には一万余名を送り出しています。

近年でもウェイトリフティング部やソフトテニス部、自然科学部、放送部において優秀な成績を収めていて、これまでも大宜味村出身者の活躍がよく見られます。当日は記念式典・祝賀会は関係者から一般客まで多くの方が集まり、記念式典での感謝状贈呈式や祝賀会での舞踊や余興では盛り上がりを見せました。

その他 主な出来事

- ・大宜味村陶器事業協同組合が県内最大級の九連房登り窯「大宜味窯」を完成(4月)
- ・めんそーれ沖縄クリーンアップにおいて、喜如嘉小学校と津波区老人クラブが表彰(7月)
- ・平良敏子さんの伝統を追った映画「芭蕉布 平良敏子のわざ」が映文連アワード 2015 でグランプリ受賞(9月)
- ・塩屋小学校「屋古のチョウ観察の研究で県科学作品展で優秀賞、全国児童才能開発コンテストの県代表。(10月)
- ・日本 PTA 表彰式において、塩屋小学校 PTA が PTA 団体賞、大宜味中学校の稲福伸さんが PTA 個人賞を受賞(11月)

ふるさと納税で村が元気に



大宜味村むらづくり応援寄附(ふるさと納税)をした寄附者に対し、平成27年1月よりお礼品の送付を開始しました。

5月には、お礼品の拡充とともに、寄附者が手軽に寄附できるように、クレジットやコンビニ決済も導入しました。

お礼品は時期によって多少異なるものの、泡盛やシーワーカーサージュース、工芸品など年間を通じ多岐にわたって用意され、村特産品が県内外の寄附者の元に届けられました。

平成27年1月から12月現在で4千万円を超える寄附があり、頂いた寄附金は寄附者が指定する事業区分ごとに振分け、村活性化のために役立てられます。

大宜味村健康と福祉まつり

・期日：平成28年1月16(土)・17日(日)午前9時30分～午後5時

・場所：大宜味小学校体育館

・主催：大宜味村

・常設：特定健診、健康教育、後期高齢者医療保険、国民健康保険、介護保険、国民年金、保育所、障がい者福祉、マイナンバーなど、大宜味村で実施している保健福祉事業のパネル展示、個別相談を行います。

・催し(16日)：地域を語ろう!～地域支え合いマッピング～(午後3時～4時30分)

○福岡県福津市健康福祉部高齢者サービス課

地域包括支援センター係長 朝長 弘美 氏

○大分県臼杵市生活支援コーディネーター 石井 義恭 氏

・催し(17日)：名桜大学ヘルサポによる健康測定(受付：午前10時～午後4時)

○血圧測定 ○骨密度測定 ○貧血測定 ○血管年齢測定

○体脂肪測定 ○ジョイスウンドフェスタでの軽運動

・お問合せ：大宜味村役場住民福祉課 0980-44-3003



羽地・今帰仁の水産資源管理にご協力ください。

羽地・今帰仁の漁業者は、自主管理として、あかじん(スジアラ)とまくぶ(シロクラベラ)の漁獲サイズ制限を実施しており、その取り組みは徐々に広がっています。



あかじん



まくぶ

なぜ資源管理が必要なのか?

沖縄沿岸の魚の漁獲量は、過去25年間で5分の1に減少しています。

その原因としては、サンゴ礁や海の環境の悪化、そして魚を捕りすぎる事があげられます。魚が少ないから、卵を産む前の小さな魚まで捕ってしまい、子どもを産む親が少なくなることから、さらに魚が少なくなってしまうのです。

魚を増やすためには?

親となる魚を増やす

親が増えると多くの卵を産み、子どもが増えます。

環境の保全

子どもが育ちやすい環境で、親になる魚が増えます。

漁業者が実践する水産資源・環境調査

羽地・今帰仁の漁業者は、水産資源や漁場環境などの調査や海を守るための取り組みを始めています。

① 標識放流調査

保護区と定置網でとれた魚に標識をつけて放流し、再捕された情報で、保護区の効果など管理効果みることにつなげます。

② 加入量調査

あかじんとまくぶの子どもの調査を行っています。子どもの数を調べることで、資源量の将来予測や、管理効果を見ることにつなげます。

③ 漁場環境調査

赤土の体積状況や水の汚れぐあいを調べたり、サンゴや海藻などの生物を調べたりして、現状がどのような環境か調べています。

県内でおこなわれている漁獲制限

◆国頭漁協、羽地漁協、今帰仁漁協、本部漁協、伊江漁協、名護漁協 あかじん 40cm まくぶ35cm以上

※上記の北部6漁協は、沖縄県海区漁業調整委員会の委員会指示に基づいた制限

漁業者は、自分たちで海を守るために自らルールを作り、資源管理を推進するとともに、海を守るための取り組みを始めています。小さい魚は獲らない、たくさん釣り過ぎない、海を汚さないなど、みなさんの気持ちと行動が重要です。

ご協力よろしくお願ひします!

羽地・今帰仁漁協資源管理委員会、お問い合わせ先

(羽地漁業協同組合 ☎0980-58-1829 今帰仁漁業協同組合 ☎0980-56-5618)



大宜味村プレミアム付き 「ふながや商品券」 ご購入者へ

ふながや商品券の**有効期限は
平成28年1月31日(日)まで**
となっています。

ふながや商品券は**有効期限を過ぎた場合は使用出来ません**のでお早めにご利用下さい。
また、**返金も出来ません**ので予めご注意ください。
ふながや商品券ご購入者へアンケート調査実施いたしますのでご協力お願いいたします。

【お問い合わせ先】大宜味村商工会 ☎0980-44-3442

臨時給付金及びシーちゃんサービス券についてのお知らせです。

🌻 **申請のお忘れはないですか？** ※まもなく受付け、取扱い期限が終了いたします。

- ・ **臨時福祉給付金** 平成28年2月1日(月)
- ・ **子育て世帯臨時特例給付金** 受付け終了です。

- ・ **シーちゃんサービス券** 平成28年3月1日(火)
お取り扱い期限終了です。

※詳しい内容やお問合わせ等は下記、臨時給付金担当までご連絡下さい。
大宜味村役場住民福祉課 臨時給付金担当 ☎0980-44-3003

第42回

おおぎみ展

1月 22日(金)~
1月 24日(日)

時間：午前10時～午後6時（初日開館 午後1時、最終日閉館 午後5時）

場所：大宜味村農村環境改善センター

展示：絵画・彫刻・写真・書道・陶芸・漆芸・染織・木工芸・民芸・生花
その他・保育所、幼稚園、小学校児童、中学校生徒の作品

お問い合わせ先：大宜味村 教育委員会 TEL 0980-44-3006

平成27年度 コミュニティ助成事業

国頭地区行政事務組合消防本部では、(財)自治総合センターからの宝くじ助成金で万が一の火災に備え、煙体験を通し煙の恐ろしさ避難要領等、火災予防活動等に活かして行くため、資器材を整備しました。

これからの資器材は、国頭地区女性防火クラブや自主防災組織の消火訓練や火災予防活動に使用します。
 整備した資器材:煙体験ハウス1式 ポータースモークPS-2005 1基 ポータースモーク専用液6本



▲ポータースモークPS-2005 1基 ポータースモーク専用液6本

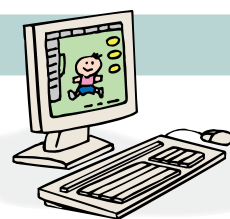


▲整備した資器材:煙体験ハウス1式

平成28年度職業訓練生募集

募集科名

科名	募集人数(定員)	訓練期間	
自動車整備科	10名(20名)	2年	平成28年4月13日～平成30年3月上旬
電気システム科	6名(25名)	1年	平成28年4月13日～平成29年3月9日
メディア・アート科	22名(25名)		
建設機械整備科	25名		
設備システム科	25名		
情報システム科	20名		
オフィスビジネス科 (身体障がい者対象)	10名	6ヶ月	平成28年4月13日～平成28年9月29日
ショップビジネス科	20名		
総合実務科 (知的障がい者対象)	10名		



募集期間

平成28年2月1日(月)～3月2日(水)
(土日祝日を除く)

授業料

無料
(但し、テキスト代、検定代、教材などは自己負担)

お問い合わせ

沖縄県立具志川職業能力開発校
 TEL:098-973-6680
 ※詳しくはお問い合わせください



労働安全衛生法に基づく平成28年1・2月講習会のご案内

(一社)沖縄県労働基準協会

講習会名	受講料	定員	日時	会場	備考
フォークリフト 運転技能講習	¥45,900 (テキスト代込み)	20名	学科 平成28年1月25日(月) 9:00～18:00 実技 26(火)～29(金)4日間 9:00～17:00	学科 北部会館3階 (名護市宇茂佐の森5-2-7) 実技 ネオパークオキナワ (名護市宇茂佐の森4607-41)	最大荷重1t以上のフォークリフトの運転業務 (道路上の走行を除く)
小型移動式クレーン 運転技能講習	免除無し ¥27,565 (テキスト代込) 一科目免除有り ¥25,405 (テキスト代込) 二科目免除有り ¥23,245 (テキスト代込)	40名	学科 2/2(火)9:00～17:00 2/3(水)9:00～17:00 実技 4(木)5(金) 9:00～18:00	学科 北部会館3階 (名護市宇茂佐の森5-2-7) 実技 ネオパークオキナワ (名護市宇茂佐の森4607-41)	吊り上げ荷重1t以上5t未満の小型移動式クレーンの運転業務(道路上の走行を除く) ※実技は4日(木) 5日(金)どちらか一日(申込順で組み分けをします)

※申込は先着順の受付とし、定員になり次第締め切らせて頂きます。
 ※受講者が少ない場合は、中止又は延期になる場合があります。予めご了承下さい。
 ※講習規定により遅刻、早退、欠席者は失格となりますのでご注意ください。
 ※顔写真2枚(縦3cm×横2.4cmポラロイド、デジタルカメラ撮影不可)必要となりますのでお申し込み時に提出して下さい。
 ※お支払い頂いた受講料は、払戻しは出来ませんのでご了承下さい。

※受講申込随時受付中※

ホームページからもご覧になれます。検索は『沖縄県労働基準協会』で！

お問い合わせ先

(一社)沖縄県労働基準協会 北部支部
 名護市宇茂佐の森5-2-7(北部会館4階)
 TEL 0980-54-4700
 FAX 0980-52-7004

満1歳お誕生日おめでとう!!
(タンカー祝い)
世界にたったひとつのスマイル!!
1歳の誕生日の子供たち (1月生まれ)



はると
宮城 春杜くん(津波)
(平成27年1月7日生)



ひゆうま
宮城 飛友磨くん(塩屋)
(平成27年1月18日生)



みお
真喜志 美音ちゃん(大保)
(平成27年1月20日生)

村の人口
11月末現在

男 1,649人(+1)
女 1,528人(-6)
計 3,177人(-5)

世帯数 1,655世帯数(+1)
出産 2人 転入 11人
死亡 3人 転出 15人

※注()内数は対前月比

**平成27年
大宜味村むらづくり
応援寄附**

	11月分	累計(1~11月分)
件数	167件	1,686件
金額	3,267,000円	33,705,000円

県内外より本村にご寄付頂き心より感謝申し上げます。

やるよ献血
~贈ろう、あなたの気持ち~

村では、下記の日程で移動採血車により献血を実施いたします。9月に実施しました献血では、多くの村民の皆様のご協力を頂き、ありがとうございました。引き続き、400mL献血へのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

期日:平成28年2月3日(水)午前9時30分~午後5時
場所:大宜味村役場第2会議室

【お問い合わせ先】
大宜味村役場 住民福祉課 ☎0980-44-3003

1月 January February 1月1日~2月10日 大宜味村カレンダー

1 金	元日
2 土	
3 日	
4 月	◆村成人式 官公庁仕事始め
5 火	◆区長会 ◆村民新春の集い
6 水	◆三学期始業式(幼・小・中)
7 木	
8 金	◆新春マラソン大会(塩保)
9 土	◆北部地区スポーツ推進委員協議会研修会
10 日	◆第30回大宜味村駅伝競走大会(喜如嘉小)
11 月	成人の日
12 火	
13 水	
14 木	
15 金	
16 土	◆第25回大宜味村産業まつり~17日 ◆大宜味村健康と福祉まつり~17日
17 日	
18 月	
19 火	
20 水	◆「体験の翼」事前学習会
21 木	

22 金	◆おおぞみ展(改善センター)~24日
23 土	
24 日	
25 月	
26 火	◆「体験の翼」事前学習会
27 水	◆ぶながやの里生涯学習講座⑤
28 木	
29 金	
30 土	
31 日	◆小学校閉校式(大小、津小)
2月 February	
1 月	◆区長会 ◆振替休日(大小、津小)
2 火	◆「体験の翼」事前学習会
3 水	
4 木	
5 金	◆乳幼児健診
6 土	◆ぶながや生活発表会(喜保) ◆沖縄一周市郡対抗駅伝競走大会~7日
7 日	◆小学校閉校式(喜小、塩小)
8 月	振替休日(喜小、塩小) 旧正月(春節)
9 火	◆「体験の翼」事前学習会
10 水	

※このカレンダーは予定ですので、都合により変更されることがあります。各業務については電話等で確認してください。

村内アレコレ



大宜味一心会と行政懇談会



11月27日、大宜味一心会役員と村三役及び課長等の参加により、初となる行政懇談会が那覇市船員会館にて行われました。また、同月29日、石垣市伊野田で八重山在住の大宜味一心会総会に合わせ、村長、村議会議長、総務課長が参加し、グランドゴルフ大会、敬老会が行われました。宮城村長からは、「世界自然遺産の登録に向けた協力体制」や「ふるさと納税」、「新大宜味小・中学校」といった村の現状とこれからの計画などが報告され、両一心会からは郷里への思いや、要望、意見などが多く出されました。

平和と健康長寿への思いを繋ぐ



12月19日から「首里城への若水献上役伝〜くる年の健康と平和 繁栄を運び〜」が開催され、国頭村辺戸区内にて「首里城お水取り行事」で取水

した聖水(若水)を宿次役走者(7名/組)によって那覇市首里まで4日間かけて運搬します。この祭りは沖縄県民の心の拠り所の聖水を採り、人々の想いで運び首里城へと献上し、くる年の万人の健康と平和繁栄を願うものであり、20日には国道58号線大宜味村区間を通過し、旧大宜味村役場庁舎前で「あやかり若水贈呈式」が行われ、その後、大宜味村走者が出発しました。各市町村区間を役走者によって運搬された聖水は、同月27日の「首里城への美御水の奉納祭(献上式)」へ引き継がれます。

饒波鎮守の森に守り神



11月21日、饒波鎮守の森で新しいお宮が建立され、区民や関係者達によって落成式が行われました。数年前に老朽化のため取り壊され、しばらくの間は公園として利用されていましたが3月に実行

委員会を立ち上げ、区民と郷友会などに資金募集を行い、建て替えることができました。山城区長は「区民以外の方にも健康や家内安全、交通安全など、お参りに来れるような場所にしたい。」と話しました。お宮の前には村内で陶芸を行っている陶藝玉城(玉城望さん、若子さん夫婦)による壺屋焼のシーサーが寄贈され、玉城さんは「以前、饒波に住んでいたので、感謝の気持ちを込めて贈りました。」と笑顔で話しました。

JAおきなわ大宜味支店女性部から地域の方へ



12月21日、大宜味村社会福祉協議会事務所でJAおきなわ大宜味支店女性部から同協議会へ、無添加の「手作りみそ」100個が贈呈されました。同支店女性部の宮城久子副部長は「みそが配られた

方から感謝の電話があり、嬉しかった。今年もこれまでと変わらない親しみのある味を守って作りました。これで温かいみそ汁を作って元気になって下さい。」と笑顔で話しました。贈られた「手作りみそ」は、同協議会を通じて地域のお年寄り達に配られます。

特産品で安全運転をPR



12月21日、県下一斉の「年末年始の交通安全県民運動」に伴い、大宜味村津波区ガタ原の交通安全石碑前で村シークワサー作戦が行われました。参加者には村内各

小・中学校生徒や名護警察署、名護地区交通安全協会、村交通安全推進協議会、村各区長など多くの方が集まり、参加した児童からは「交通安全にご協力下さい」と声掛けしながら、交通安全のチラシと村特産品のシークワサーが配られ、ドライバーは「気をつけます。ありがとうね。」と笑顔でシークワサーを受け取りました。